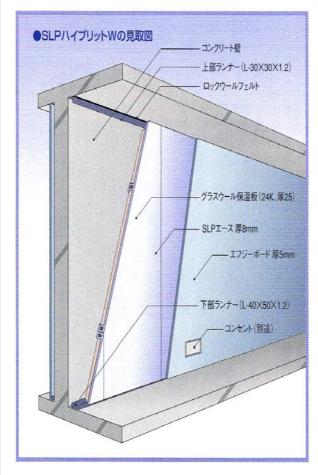
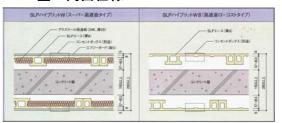
改修技術シート 22						
改修技術名	戸境壁の遮音性向上リフォーム・新設工法					
連絡先	(㈱エーアンドエーマテリアル 担当:大塚 横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5 Tel:045-503-5771					
URL	http://www.aa-material.co.jp					
技術概要	・既存のRC造戸境壁を損傷することなくそのまま利用した遮音性向上リフォーム工法。 ・住戸面積を拡充(2戸-1戸化、3戸-1戸化)し、耐震補強された既存のRC造戸境壁を利用した遮音性向上リフォーム工法。 ・住戸面積を拡充、または単身者用に改造する等、高遮音性能、耐火性能を兼ね備えた戸境壁の新設工法。 <効果> ・既存のRC戸境壁を損傷することなく、品確法の音環境等級2の性能(RC造壁150mm)を等級4(RC造壁260mm相当(Rr-55)~800mm相当(Rr-65))にリフォームできる。 ・上階スラブから発生した固体音は、当該室のRC造壁にも伝達され壁面からも空気音として放射されるが、当システムにより壁面から伝わる上階の固体音を低減できる。 ・耐震補強させたRC造壁を意匠的に隠蔽し、かつ遮音性能が向上する。・せっこうボードと違い、クロス貼り替えが何度でも可能。 ・従来、戸境壁には設置できなかったコンセント・スイッチボックスが取り付け可能となり、また、吊り戸棚も自由に取り付けることができる。					
適用範囲	既存RC戸境壁、新設戸境壁					
 備考	戸境壁の遮音性向上に伴い、床・開口部からの音が顕著化する可能性があ り、別途、床・開口部の遮音対策が必要。					
事例	・乾式高遮音耐火間仕切壁として、1989 年発売、4,000 物件、300 万㎡。(新築) ・RC壁に付加した本工法の採用 12件。(新築 10件、リフォーム2件)					
類似技術	RC壁+木枠+せっこうボード(遮音性向上無)					
工業所有 (技術認証等)	特許 3037626 (RC壁+は申請中) 遮音 SOI-0007 耐火 FP060NP-9162 品確法音環境特別評価認定 337 (等級 4) 備考 (適用条件等)					
施工期間	備考(適用条件等)					
居付工事の可否	「可」又は「否」を記入 備考(必要退避日数等) 可					
居住者や周囲への	(振動、騒音、粉じん、臭気等の影響、必要となる対応策について)					
影響 (工事中)	床、天井スラブへのランナー取付時の一時的な騒音。					
実績等	□自社独自の技術(特許等:■取得済み、□出願中、□特になし) □部分的に独自のノウハウ有り 長谷工コーポレーションと共願 □一般的な技術(他社でも類似工法を展開) 年間受注: 4~5 件程度					

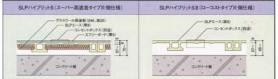
# 図面·写真等



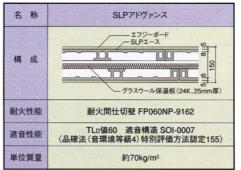
### RC壁+両面仕様



# RC壁+片面仕様



## 新設仕様



### 各仕様と音環境改善データ

タイプ	商品名組合せ			t	遮音性能	品確法(音環境) 特別評価認定	備考
リフォーム 両面 仕様	SLPハフ <sup>*</sup> リットW (スーハ <sup>°</sup> ー高遮音タイフ <sup>°</sup> )	FG/SLP(GW)/	RC	/SLP(GW)/FG	Rr-65相当 (TLD値64)	337(等級4)	RC造壁800mm に相当
	SLPハプリットW II (高遮音ローコストタイプ)	SLP/	RC	/SLP	Rr-55クリヤー (TLD値56)	336(等級4)	
リフォーム 片面 仕様	SLPハフ・リットS (高遮音タイプ片側仕様)		RC	/SLP(GW)/FG	Rr-55クリヤー (TLD値56)	-	RC造壁260mm に相当
	SLPハフ <sup>*</sup> リットS II (ローコストタイプ <sup>°</sup> 片側仕様)		RC	/SLP	Rr-55相当 (TLD值54)	ı	
新設 仕様	SLPアドヴァンスTL <sub>D</sub> 60	FG/SLP/	GW	/SLP/FG	Rr-60相当 (TLD値60)	155(等級4)	RC造壁500mm に相当
_	RC造壁150mm		RC		Rr-45クリヤー	等級2	

※組合せ ★SLP:SLPエース厚8mm ★FG:エフジーボード厚5mm ★(GW):グラスウール24K品厚25mm充填 ★RC:コンクリート造壁厚150m